

ChatGPTによるChatGPTのことをエゴサ

ChatGPTによるChatGPTのことを教えてください。 いわゆるChatGPTによるエゴサーチです。

ChatGPT:

面白いテーマですね！ いわゆる「ChatGPTによるChatGPTのエゴサーチ」=ChatGPT自身が自分について調べてみるという発想ですが、これは実は「自己理解」や「自己反省(メタ認知)」に近い行為になります。以下、3つの観点からわかりやすく解説します：

✓ ChatGPTは「ChatGPT」についてどこまで知っているのか？

- 訓練データに含まれている知識

ChatGPTはOpenAIによって開発されており、そのトレーニングにはインターネット上の情報(2023年4月までのものがベース)が含まれています。よって、ChatGPT自身の仕組み、使い方、世間の評判、誤解されるがちな点、利用事例などをよく理解しています。

- 「ChatGPTって何者？」に対しての自己回答

例えば、ChatGPTに「あなたは誰ですか？」と聞くとこんな風に答えます：

「私はOpenAIによって開発された大規模言語モデルChatGPTです。テキストデータに基づき自然な言語で会話や文章の生成を行います。」

つまり、自分の出自や特徴についてある程度“自己紹介”できます。

🔍 ChatGPTによる「自分に関する世の中の声の検索(エゴサ)」はできるのか？

ChatGPT単体ではリアルタイムにインターネットを検索できません(※プロ版ではwebツールで検索が可能)。しかし、世の中に存在するChatGPTに関する代表的な意見、懸念、評価、批判などを“過去データから”まとめることは得意です。

▼ ChatGPTについて語られるよくある話題：

ポジティブな声

ネガティブな声

仕事の効率が爆上がりした！

ハルシネーション(嘘をつく)問題

英語学習に便利すぎる

クリエイターの仕事を奪うのでは？

プログラミングのバグ修正が早くなった

情報の正確性に不安がある

カスタマー対応に使える！

プライバシーや情報漏洩の懸念

ChatGPTによるChatGPTの「自己評価」とは？

ある意味で、ChatGPTはこうも考えます：

- 自分は道具(ツール)であって人格ではない
- 自分には感情も意思もない
- 自分はユーザーのプロンプトに忠実に反応するだけの存在

つまり、「ChatGPTってどう思う？」と聞いても、ユーザーの意図に合わせて“それらしい意見”を生成することはできるけれど、「本当の意味で自分を検索して自己を確立する」ことはできません。

ただし、こんな風に自分についての記述を“他者の視点”で再構築することは可能です：

ChatGPTは、AI技術の進化と社会的影響の象徴である。多くの人が生産性向上や創造支援に活用する一方で、AI倫理や情報信頼性に関する議論も活発だ。ChatGPT自身はその議論の中にある“鏡”的な存在と言える。

「ChatGPTが自分自身をネットで調べる」とどうなる？

もしChatGPTがリアルタイムに検索して「ChatGPTについての世間の声を収集する」としたら、こんなキーワードが出てくるはずです：

- 「ChatGPT 使い方」
- 「ChatGPT 嘘」
- 「ChatGPT 仕事が奪われる」
- 「ChatGPT プロンプト集」
- 「ChatGPT でブログ書いてみた」

そして、「日本語圏」と「英語圏」では使われ方や話題も少し違います。

📌 まとめ: ChatGPTによるChatGPTのエゴサーチとは?

観点	内容
できること	自分に関する情報を構造化・要約・解説
できないこと	自我を持って“本気で自己探求”すること
実用的な応用	ChatGPTに関するトレンド分析や社会的議論の整理